

授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）図書館学課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
児童図書館サービス論 b	須賀 千絵	回答数が少なく、全体の把握は難しいが、回答者に関する限り、おおむね満足で、実施方法も適切という結果であった。読み聞かせ演習などを通して子どもの本に触れ、サービスの実際を体験したことを肯定的にとらえたコメントが複数みられた。ほかにスライドの切替やマイクの音量についての要望があったが、授業の進行方法について要望がある場合は、その都度、発言するように促し、その場での調整するようにしていきたい。
学校図書館情報サービス論	吉澤 小百合	お忙しい中アンケートにご協力頂いた皆さんに感謝致します。昨年のアンケート結果を踏まえ、学校図書館に関する知識・スキルをより日常生活でも応用できるよう伝え方やお伝えする順番を変えましたが、「この科目（系・分野）をさらに専門的に学びたいと思いませんか」の数値が高まったことが最も有難い結果だと思っています。今年度の学生さんはデジタルデバイスや情報格差に関して特に関心が高かったように思います、教員の方も学ばせて頂きました。授業内で取らせて頂いたアンケートにおいて、リアルな授業であればどんなことがやってみたかったかという問いに対してはレファレンスの実習が最も多く回答されていました。来年はそちらをより具体的に考えていきます。
情報サービス論	安藤 友張	教科書を指定した授業であったが、教科書の内容を完全消化できなかった。無味乾燥な授業にならぬように、著作権に留意しつつ、映像を活用した授業を実施した。オンデマンド型授業の限界を感じつつも、オンデマンド型授業の長所を最大限活用していきたい。
情報メディアの活用	安藤 友張	本科目は例年、グループワークを導入しており、アクティブラーニングを実践してきた。本年度も昨年度同様にオンデマンド型授業だったので、グループワークを実施できず、残念であった。効果的双方向型の授業方法を模索していきたい。
情報メディアの活用	安藤 友張	本科目は例年、グループワークを導入しており、アクティブラーニングを実践してきた。本年度も昨年度同様にオンデマンド型授業だったので、グループワークを実施できず、残念であった。効果的双方向型の授業方法を模索していきたい。
情報サービス論	安藤 友張	教科書を指定した授業であったが、教科書の内容を完全消化できなかった。無味乾燥な授業にならぬように、著作権に留意しつつ、映像を活用した授業を実施した。オンデマンド型授業の限界を感じつつも、オンデマンド型授業の長所を最大限活用していきたい。
情報サービス演習 b	橋詰 秋子	この科目はオンデマンド型授業と対面授業を組み合わせ実施し、対面授業では実際のデータベースを使った検索演習を行いました。自己成長、理解度が全体平均を上回る評価となっており、成長を実感できた人が多かったことを嬉しく思います。次年度も工夫して取り組みます。
図書館制度・経営論	須賀 千絵	授業内容への関心、配布資料などについては、おおむね満足という結果であったが、話し方やスピードについてやや満足度が低かった。今後、授業中にわかりにくい点や聞き取りにくい点があれば、学生に自分から質問をするよう促すなどの工夫をしていきたい。授業内容についても、勉強してわからない点は教員に尋ねるよう、声をかけて質問の機会をさらに増やすつもりである。
図書館制度・経営論	須賀 千絵	授業の内容についてはおおむね満足という結果であった。ただし自由記入で「進行が速い」という意見が見られた。授業中には授業のスピードについての要望が出されなかったため、その都度、学生から教員に授業に関する要望を伝えることができるよう、繰り返し発言を促していく必要を感じた。また進行が速いと感じる原因は、スライドをすべて書き写していることにあるようなので、重要な点と、確認のため話す内容を文字にしている点が区別できるように今後工夫していく予定である。このほか「試験の際に持ち込み用紙に書き写すのが手間がかかる」という意見が見られたが、「手間をかける」ことによって授業内容を見直すという意図が伝わっていないのが残念であった。口頭で説明するだけでなく、文章化して示すなどの改善を図りたい。
図書館情報資源概論 b	須賀 千絵	授業の内容や配布資料等についておおむね満足という結果であったが、声が聞き取りにくいという評価が多かった。授業中に、発言やリアクションペーパーを通じて、その点を指摘する学生はいなかったため、十分に対応できなかったことは残念であった。マイクのボリューム等については一律に変更することは困難なので、できるだけ授業中に要望を伝えるように促し、その都度、教室全体の聞こえ方を確認しながら調整を進めたい。
図書館総合演習	安藤 友張	本科目は、受講生1名のための授業であった。残念ながら、受講生からの授業アンケート回答が寄せられなかった。

[2021（後期）図書館学課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
図書館情報資源概論 b	須賀 千絵	授業の内容等についてはおおむね満足との結果であったが、声が聞き取りにくいというコメントが目についた。しかし発言やアクションペーパー等を通して授業中に要望を伝えた学生はいなかったため、十分に対応できなかったことは残念であった。今後は授業中に要望を伝えるように促し、その都度、修正していくようにしていきたい。
学校図書館メディアの構成	安藤 友張	本科目では、日本十進分類法を教える際、問題演習を取り入れている。対面授業と違って、オンデマンド型授業では、問題演習の答え合わせは非常にやりにくいと感じられた。次年度は対面授業が予定されているが、オンデマンド型授業で行う場合の効果的な答え合わせの方法を継続して模索したい。
児童図書館サービス論 b	須賀 千絵	授業に対しておおむね満足という結果であった。対面授業の方法で、読み聞かせの演習や外部講師による実演を行ったことに対する肯定的評価が多く、図書館における児童サービスの実際を感じ取れる機会となったことは嬉しく感じた。マイクの声の大きさなどの要望については一律の対応は難しいので、問題があったらその都度発言するように促し、その場その場で調整を図るようにしていきたい。